



かわしま

mail:y3kawash@edu.city.yokohama.jp

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawashima/

学校だより 1月号
平成 21年 1月 7日
横浜市立川島小学校
校長 小池 慎一
TEL 371-0757
FAX 381-7248

こ と し よ こ は ま か い こ う し ゅ う ね ん 今年 は 横 浜 開 港 150 周 年

学校長 小池 慎一

新年あけましておめでとうございます。平成21年が始まりました。

今年、安政6年(1859年)に日米修好通商条約によって横浜が開港してから150年目にあたる年です。横浜市では、これを祝う行事がたくさん予定されているようです。

川島小学校が現在建っている場所からは、校舎の正面に横浜港やランドマークタワーが見えます。天気の良い日には、その向こうに東京湾と房総の山を望むことができます。未来を託す子どもたちに、この場所での風景を見ながら、開港という日本の今に至る大きな転換点を見据え、未来に思いを馳せて育ててほしいという願いから、川島小学校の現校舎建設にあたった先人の方たちが、この地とそしてこの校舎の向きを選んだのだと私は思っています。

私が小学生になるかならないかというころ、横浜開港100周年を祝っていました。

何を書いたか、すっかり忘れてしまいましたが、開港記念の席書大会や作文の募集などがあったことを、今でも覚えています。

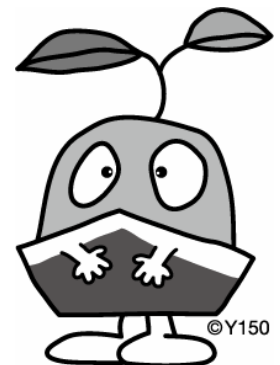
そして、開港100周年を記念して、横浜—シアトル間の最後の航海を終えた氷川丸が山下公園に係留され、横浜港のシンボルとなっているマリンタワーが建設されたのが、昭和36年(1961年)頃だったと思います。ちょうどその頃を境に、人々や物資の輸送手段が次第に海から空へと転換を始めた分岐点でもあったように思います。

今年横浜開港150周年を迎えるにあたり、社会は当時とは比べものにならないくらい、大きく変化していて、その意味でも今また時代の変わり目にあるのだと思います。人によっては、先行き不安とか閉塞感といった言葉で表現することもあるようですが、先が見えないからこそ、何が起きるか分からない予測不能であるからこそ、むしろ多くの可能性が残されていて、そこに子どもたちにとっては未来を創造するチャンスがあるのだと、私は思っています。

横浜の次の50年を作っていくのは、今小学生である子どもたちです。

川島小学校では、子どもたちがこれからの50年、未来を切り拓き創り上げていくことができるようにするため、全力をあげて子どもたちの教育に取り組んでいきたいと考えております。

どうか、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



横 濱 開 港 150 周 年